

# 三木亮治活動目誌



2月7日:宇野軟式野球SP卒団式  
於:百間川竹田グラウンド



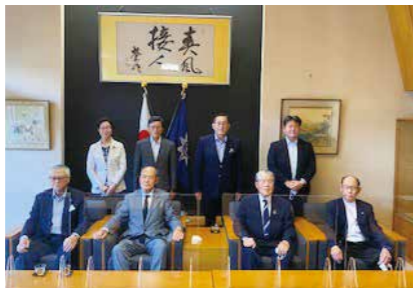
3月16日:高島地区の皆様と高島団地新築建て  
替えと高島駅前整備について大森市長へ陳情



3月27日:赤磐市長選挙で友実候補を  
応援に。友実氏は見事当選



3月20日:原尾島こども園竣工式出席



6月1日:高島地区役員の皆様と  
議長室訪問挨拶



10月3日:岡山市長選挙、大森雅夫氏  
三期目当選



10月10日:竜ノ口ソフトボールSP  
交歓大会開会式 於:竜ノ口小運動場



10月31日:衆議院選挙  
山下貴志氏当選



10月31日:衆議院選挙  
逢沢一朗氏当選



11月8日~10日:九州行政視察  
於:8日熊本市役所



11月16日:自由民主党新国会  
大森市長へ政策提言提出



12月22日~24日:東京都行政視察  
23日:江戸川区子ども未来館

令和三年 議会報告	一月 14日 臨時市議会	二月 15日 個人質問 二月定例市議会	三月 18日 個人質問 二月定例市議会	五月 13日 臨時市議会 和気議長当選	六月 7日 六月定例市議会 個人質問	八月 31日 九月16日 九月定例市議会	九月 19日 九月3日 岡山市長選挙 大森雅夫当選	十月 24日 十月3日 市議会補欠選挙 花岡栄太郎当選	十月 19日 十月31日 衆議院選挙 山下貴志当選 逢沢一朗当選	十一月 8日 十一月10日 会派視察 九州方面 市長へ政策提言 十一月定例市議会	十二月 22日 個人視察 東京都方面	その他の公務等多数 保健福祉・協働委員会 総務委員会
--------------	--------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	---	---	---	--------------------------	----------------------------------

# 三木通信

## 2022 No.27

発行者 三木 亮治  
住 所 岡山市中区藤原西町  
1-2-5-1

## 中四国のNo.1都市を目指そう!

この2年間、新型コロナウイルスの世界規模の蔓延は私たち人類に大きな試練を与えました。我が岡山市においても多くの市民の犠牲、多大な損失を出しています。今もオミクロン株に置き換わり感染を拡大させています。しかし重症化は低下し、軽症及び無症状が大半を占めています。三度目のワクチン接種が進み、特效薬が行き渡ってくれば、この新型コロナもインフルエンザと同様の扱いとなっていくだろうという声もあります。勿論、油断はできません。どのように今後変異して行くのか予想ができないからです。

私たちはこのまま座して死を待つようなことはできません。政治がリーダーシップを発揮する、まさにここが正念場だと思います。私たちは勇気を持って前進するしかありません。

さて、岡山市のこれからの課題は、一つは新型コロナ禍からの脱却と復活、一つは人口減少問題の解消、一つは産業振興、一つは文化・芸術の振興、一つは教育振興、そして誰もが不平・不満を持たない公平・公正な市政を実現することです。この理念をどのように市民に周知し、具体的に展開するのか、政治の責任と実行力が求められています。

私も今春で初当選から27年、勇気を持って市民の皆様のため、岡山市発展のため課題解決に向け全力を尽くす所存であります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 岡山市の現状

現在、中四国の第1位の都市は都市規模・人口・政府機関の集積度で勝る広島市です。しかし、利便性・拠点性、住みやすさ、医療・文化・教育等の視点では、岡山市も十分に1位を目指すことは可能です。

### 岡山市の基本データ

政令指定都市20市中、人口規模・財政規模は小さいが、財政状況は健全で貯金である財政調整基金等も潤沢な上、市役所新築のための基金も80億円以上あり、今のところ将来資金の心配はありません。

★市域:789.95km<sup>2</sup> 人口:720,300人(令和2年10月1日)

★令和4年度当初

予算	一般会計:352.947百万円
	特別会計:195.946百万円
	事業会計: 77.394百万円
	合計:626.287百万円
一般会計通常市債残高(借金)	1.674億円
財政調整基金等(貯金)	29.309百万円

★岡山市の財政状況(令和2年政令市20市順位)

標準財政規模:196.182百万円	17位(広島市9位)
財政力指数(3年平均):0.79	16位(広島市12位)
経常収支比率:90.2%	1位(広島市9位)
実質公債費比率:5.6%	8位(広島市19位)
将来負担比率:0%	2位(広島市19位)
基金残高:20.830百万円	7位(広島市19位)

### 政令市20市中順位

●幸福度ランキング(政令市20市中) (2020年度版日本総合研究所都道府県ランキングから)	5位
●質の高い都市機能の集積(政令市20市中)	
病院数 人口10万人あたり7.8施設	4位
厚生労働省「令和元年医療調査」	
医師数 人口10万人あたり434.5人	2位
厚生労働省「平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査」	
都市公園面積 人口1人あたり16.9m <sup>2</sup>	2位
大都市統計協議会「平成30年大都市比較統計年表」より	
民営借家の安さ 3.3m <sup>2</sup> :3,879円/月	5位
総務省「2019年小売物価統計調査」より	
大学・短大学生数 人口10万人あたり4,442人	6位
文部科学省「令和2年度学校基本調査」より	
文化施設数 人口10万人あたり3.1施設	3位
大都市統計協議会「平成30年大都市比較統計年表」より	
体育施設数 人口10万人あたり31.1施設	6位
文部科学省「平成30年社会教育調査」より	
図書冊数 人口1人あたり4.5冊	1位
大都市統計協議会「平成30年大都市比較統計年表」より	
国指定史跡数 18カ所	2位
大都市統計協議会「平成30年大都市比較統計年表」より	

# 岡山市は動きます



県庁通り一車線化事業

## 歩いて楽しい街 岡山

中心市街地に住む人、周辺地区や市外から来られる全ての人を楽しめることができる。そんな街創りをします。路面電車の岡山駅前広場乗り入れにより利用者の利便性を高めます。県庁通り歩道拡張や樹木の植栽、下石井公園の芝生化により、西川緑道公園の魅力を高めることで歩行者の回遊性を高めます。観光拠点や芸術・文化拠点を適正に配置整備することで人の動きを活性化します。大人気の「ももちゃり」も更に充実して市街地空間を楽しんでいただきます。

## 目白押しの再開発事業

千日前の芸術創造劇場が入居予定の再開発ビル建設工事も徐々にその姿が見えてきました。またリョービの「杜の街」もマンション・オフィス棟、さらに商業棟も完成いたしました。そして、いよいよ駅前町の再開発も事業が始まります。事業名は「岡山市駅前町一丁目2番3番4番地区第一種市街地再開発事業」、住宅・商業・業務・ホテル・コンベンション施設等の都市機能の集積であり、2026年の完成を予定しています。また、蕃山町、旧岡山会館、旧三丁目劇場、表町一丁目の再開発事業も順調に動いています。10年後の岡山が楽しみです。



岡山駅前再開発事業

# 周辺地区への投資



上道地域センター・上道公民館

## 都市計画道路等のインフラ整備

都市計画道路の整備は周辺地区の発展と渋滞解消の決定打です。大森市長就任後、急速に整備されています。また一宮への公共下水整備は予定にありませんでしたが、これも市長の決断で整備中です。昭和40年代の広域合併、平成の4町合併により現在の岡山市となりましたが、合併以前の地域センターや公民館も老朽化のため立て替えが始まり、吉備・上道公民館と地域センターも合築新築されました。西大寺の神崎山スポーツ公園の大改修、山南学園の新設、高松の造山古墳ビジターセンター整備も行いました。

岡山市中心部だけではなく周辺部の市民の皆様にも喜ばれるような投資を行っていきます。

## 未来づくりの推進事業

地域住民組織をはじめ、NPO法人、株式会社等多様な主体が中山間、周辺地域における、持続可能な地域づくりをめざしコミュニティビジネスの創出など、様々な地域課題に取り組むため支援する制度です。35億円の基金を設け10年間の事業計画です。

## 原尾島等排水ポンプの拡充

令和元年の水害により多くの地区で河川の決壊による太洪水、内水氾濫が発生しました。その後、河川改修は国・県が主体となり事業を進めています。内水氾濫対策は岡山市が笹が瀬川流域のポンプ場、百間川流域の原尾島から沢田、今谷のポンプ場の改修を進めています。



西川イルミネーション

# 新年度予算の主な事業

## 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

岡山市の財政状況は概ね健全ですが、新型コロナウイルス感染拡大により経済・市民生活は厳しい状況となっています。健全財政を保ちながらも市政発展・市民生活向上のため令和4年度予算は積極的な編成となっています。主な予算を紹介します。  
※新規事業は赤字、拡充事業は青字で表示

- 日本遺産活用推進事業 2億51百万円
- 移住・定住促進事業 1億5百万円
- 市街地再開発事業の促進 34億00百万円
- 企業立地推進事業 1億85百万円
- DESTINATIONキャンペーン事業 96百万円
- 地域の未来づくり促進事業 1億84百万円
- 中小企業設備投資等支援事業 1億00百万円
- アリーナに対する基礎調査 5百万円
- 岡山城の魅力アップ 11億3百万円
- 岡山芸術創造劇場の整備 136億28百万円
- 道路ネットワーク充実 下中野平井線 36億74百万円
- 岡山芸術交流2022 1億40百万円



造山古墳ビジターセンター

## 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」



夜間中学

- 子育て環境の施設整備推進事業 11億46百万円
- 放課後児童健全育成事業 29億13百万円
- 保育士確保対策 4億59百万円
- 困難を抱える子どもとその家庭への支援 10億98百万円
- 夜間中学設立準備事業 1百万円
- 公民館整備事業(中央) 54百万円
- 子ども医療費助成事業 22億31百万円
- 新岡山学校給食センター整備事業 1億58百万円
- 魅力ある授業推進事業 2億66百万円
- 学校空調設備(特別教室)基礎調査 2百万円
- ICT活用支援事業 2億61百万円
- 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業 4億95百万円

## 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

- 健康づくりと生涯活躍推進事業 1億35百万円
- 認知症サポーター活動促進事業 7百万円
- 下水道・河川による浸水対策事業 36億13百万円
- 新庁舎整備事業 5億44百万円
- 水道施設・管路耐震化等更新化事業 86億75百万円
- 下水道施設の耐震化・再構築事業 38億43百万円
- 道路照明灯LED化事業 63百万円
- 地球温暖化対策事業 5億28百万円
- ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業 13億78百万円
- がけ地近接等危険住宅移転事業 25百万円



半田山シールドトンネル内部